

## 絵画寄贈の3人表彰

### 小樽市地元ゆかり18点展示へ

小樽市は市立小樽美術館に本年度、油彩画などを寄贈した市内外の3人を表彰した。3人は小樽ゆかりの作家の作品計18点を寄贈した。

表彰されたのは、小樽信金の元専務理事下中博文さん(67)、札幌市の絵画収集家長谷川博俊さん(78)、同市の北大名誉教授上野武治さん(76)。下中さんは仕事



迫俊哉市長から表彰状を受け取る（左から）長谷川さん、上野さん、下中さん

の縁で収蔵していた風景画家石塚常男の作品計9点（363万円相当）、長谷川さんは洋画家国松登らの作品計6点（294万円相当）、上野さんは研究するプロレタリア画家大月源二の油彩画3点（320万円相当）を贈った。

表彰式は5日に市役所で行われ3人が出席。迫俊哉市長から表彰状を手渡された。下中さんは、埋め立て中の小樽運河を描いた作品などの寄贈作品について「多くの人に昔の小樽を知ってもらいたい」と語った。

同美術館の星田七重学芸員は「北海道の美術史においてなくてはならない作品ばかり」と話し今後、企画展で展示する意向だ。

（前野貴大）

下中博文氏は本学OBであり、緑丘会小樽支部副支部長です。